

JAバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（2019年度）

JAバンク栃木（栃木県下JAと農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク栃木中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

この度、2019年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための支援

JAバンク栃木は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク栃木は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2020年3月末時点のJAバンク栃木の農業関係資金残高^(注1)は40,022百万円（うち農業経営向け貸付金18,858百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は8,056百万円を取り扱っています。

(注1) 農業関係資金残高とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク栃木が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業関係資金残高】（単位：百万円）

	2020年3月末現在
農業	24,224
穀作	6,052
野菜・園芸	5,115
果樹・樹園農業	1,169
工芸作物	30
養豚・肉牛・酪農	6,470
養鶏・鶏卵	21
養蚕	1
その他農業（注1）	5,366
農業関連団体等（注2）	15,798
合計（注3）	40,022

(注1) 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2) 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

(注3) 小数点以下を四捨五入しております。

【資金種別別農業関係資金残高】 (単位：百万円)

種 類	2020年3月末現在
プロパー資金 (注1)	33,246
農業制度資金 (注2)	6,775
農業近代化資金	5,553
その他制度資金 (注3)	1,222
合 計	40,022

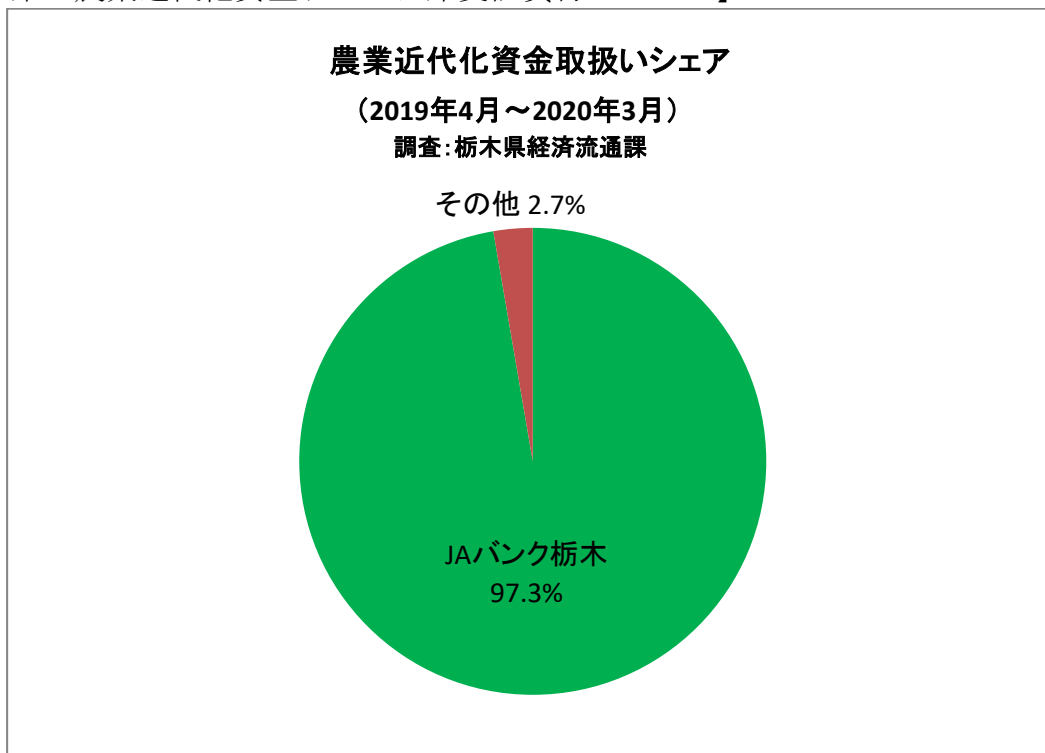
- (注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- (注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク栃木が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- (注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。
- (注4) 小数点以下を四捨五入しております。

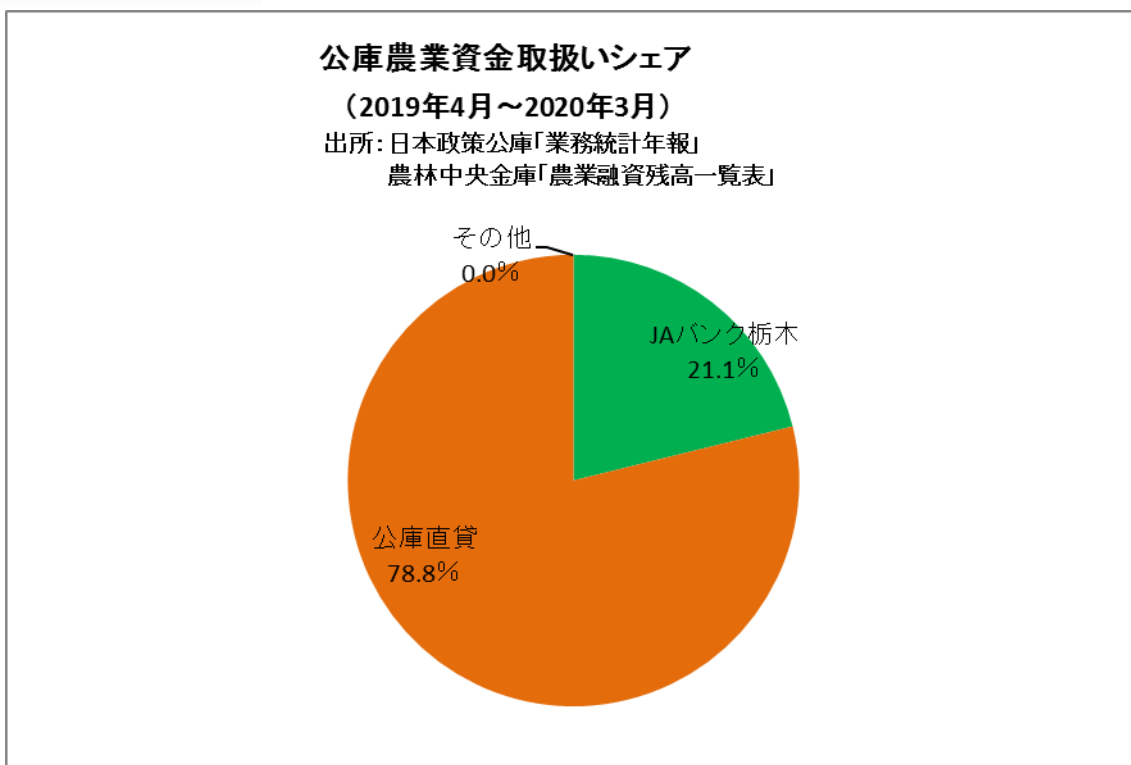
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	2020年3月末現在
日本政策金融公庫資金	8,056

(注) JAバンク栃木では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク栃木は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【栃木県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】




(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク栃木では、地域の農業者との関係を強化・深耕するための体制整備に取り組んでいます。

JAの農業融資担当者は、営農相談・経済担当者と連携して農業者からお聞きした情報を把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JAには58人の「担い手金融リーダー」が設置され、これらの活動をサポートしています。

農林中央金庫宇都宮支店では、JAの活動サポートや指導機能、農業法人等への融資相談機能を有し、これらの機能拡充、強化に向けて取り組んでおります。

(3) JA内事業間連携の強化

JAバンク栃木では、農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業担当者との合同会議や研修会の開催に加え、農業者への同行訪問等を行うことにより、JA内事業間連携を強化しています。

【具体的取組事例】
a JAバンク栃木担い手金融リーダー会議

開催日	2020年2月14日
主催者	農林中央金庫宇都宮支店
参加対象者	JA役職員
参加人数	60名
内容	<p>農家支援の取組強化を図ることを目的に、農業融資担当者および営農・経済渉外担当者を参集しました。会議では、栃木県より「農業制度資金融資状況等の情勢」、日本政策金融公庫より「営農類型別農業経営の着眼点」等についてご説明をいただきました。また、「第15回JAバンク担い手金融リーダー全国大会」に参加したJAうつのみやの担当者より、同大会のフィードバックと自らのJAにおける事業間連携の強化策等について報告をいただきました。</p> <p>講演では澳原いちご農園代表取締役の澳原大介氏より「これからのいちごとJAに望むこと～若手経営者の視点～」と題して、自身のいちご経営について新規就農から法人化に至るまでの取組み、これまでのJAとの関わり方や要望について講演をいただきました。</p>



b 第19回パワフルアグリフェアの開催

開 催 日	2019年7月20、21日
主 催 者	JAグループ栃木
総 来 場 者 数	県内外より7,125名
内 容	パワフルアグリフェア（JAグループ栃木農業機械等統一展示会）に参画し会場内に設置した特設コーナーにおいて、農業資金等のPRおよび借入相談対応等を実施しました。特に今年度は、農業近代化資金の保証料助成制度にスポットを当て、チラシの配布やポスター掲示により、本制度の周知に努めました。さらに、全農栃木県本部と連携して、目玉商品であるJAグループ共同購入トラクターの紹介ブースにおいて、農業近代化資金のPRを行いました。



2 担い手への経営支援

JAバンク栃木は、担い手をサポートするため、経営サイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク栃木では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、日本政策金融公庫資金「青年等就農資金」を取り扱っています。また、2016年7月にはJAバンク栃木としても新規就農者の様々な資金ニーズに対応すべく「JA新規就農応援資金」を創設しました。

加えて、2016年4月に設立した「JAグループ栃木担い手サポートセンター」や、日本政策金融公庫宇都宮支店、栃木県と連携し新規就農者向けセミナーを開催し、各種情報提供に加え、新規就農者間や関係機関とのネットワークづくりを行っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位：百万円)

	2020年3月末 残高
青年等就農資金	1, 137
就農支援資金	220
JA新規就農応援資金	66
合計	1, 423

【2019年度新規就農者応援セミナーの開催】

開 催 日	2019年7月24日
主 催 者	JAバンク栃木、株式会社日本政策金融公庫宇都宮支店
参 加 人 数	125名
内 容	<p>栃木県（各農業振興事務所）との協力のもと、県内で新規就農を資金面・制度面で支える機関・団体が集結し、県内各地から新規就農者ならびに県農大生を含む新規就農者を志す研修生ら計60人程度が参加しセミナーを開催いたしました。</p> <p>セミナーでは各関係機関より融資商品や補助事業等の情報提供を行った後、君嶋貴宏氏と渡邊義正氏より「先輩農家の実体験から学ぶ！～農業のいろは～」と題しご講演をいただきました。ご自身の体験談やパート雇用・職場づくり等労務管理、情報発信の重要性を紹介していただきました。</p> <p>セミナー終了後は意見交換会も開催し、参加者同士での情報交換をはじめ、お互いの圃場見学の約束など、積極的に「つながり」を広げていました。</p>



(2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク栃木では、負債整理資金の対応にあたり、関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【2019年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先数)

	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生 計画を策定し た先数 a	Aのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 b	Aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 c	再生計画策定 率 = a / A	ランクアップ 率 = b / A	
		正常先①	37	7		34	18.9%
要注意 先	うちその他要注意先②	31	4	2	26	12.9%	6.5%
	うち要管理先③	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	破綻懸念先④	25	13	0	24	52.0%	0.0%
	実質破綻先⑤	6	0	0	6	0.0%	0.0%
	破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	小計(②～⑥の計)	62	17	2	56	27.4%	3.2%
	合計	99	24	2	90	24.2%	2.0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は2019年2月末時点でのものです。

(3) 災害被災者への支援

JAバンク栃木では、自然災害の被害を受けた方を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(4) JAバンク栃木講演会・セミナー等の開催

JAバンク栃木および栃木県農業法人協会主催により、農業法人経営者や系統団体等を招いたセミナーを開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

【具体的取組事例】

セミナー名	2019年度 栃木県農業経営セミナー
開催日	2020年1月29日
主催者	JAバンク栃木、栃木県農業法人協会
参加対象者	農業法人経営者、JA役職員、行政、関係団体 等
参加人数	95名
内容	<p>◆第一部 ①「生産者と消費者をつなげる直販サービスの可能性と事例セミナー」 講師 株式会社 ビビッドガーデン</p> <p>◆第二部 ②「情報提供」 講師 株式会社 soeasy</p> <p>◆第三部 ③情報提供</p> <p>◆第四部 ④「日本酒セミナー～日本酒の魅力について～」 講師 宇都宮酒造 株式会社</p> <p>◆第五部 ⑤交流会</p>

3 経営の将来性を見極める融資手法を活用した担い手に適した資金提供

JAバンク栃木では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による経営支援

JAバンク栃木では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2019年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	2019年度 実行件数	2019年度 実行金額	2020年3月末 残高
農業負担軽減支援資金	0	0	0
畜産特別資金	0	0	95
その他	0	0	0
合計	0	0	95

(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の軽減を図るための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注3) その他資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の軽減を図るためのJAプロパー資金の総計です。

(2) 動産担保を活用した農業融資の活用

JAバンク栃木では、栃木県で盛んな酪農業・畜産業を営む農業者に必要な運転資金を提供するため、「ABL対応型資金」を2017年度に創設しております。

ABLとは酪農業・畜産業における商品在庫(牛や豚)を担保とすることで、不動産担保や個人保証に依存しない融資が可能となる手法です

【2019年度 動産担保の農業融資実績】

(単位：件、百万円)

種類	件数	残高	内容
農産物			
畜産物	4	8	ABL対応型資金
機械設備	3	4	太陽光発電(アグリパワー資金)
その他			
合計	7	12	

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク栃木は、地域の子どもたちに農業への理解を促進するため、農業に関する補助教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験の受入れ等に取り組んでいます。

「農業とわたしたちの暮らし」は、JAを通じて、県内約350の小学校へ約20,000冊配布され、授業等において活用されています。

また、JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【各JAによる活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAうつのみや	農業体験教室 (アグリスクール)	地域住民を対象に、野菜の収穫体験や稲刈りの農業体験を通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。
JAかみつが	農業体験学習・学校給食への農産物贈呈	親子農業体験学習の開催や学校給食へいちご・ニラの贈呈を通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。
JAはが野	農業体験教室 (未来ちゃんクラブ)	小学生を対象に、JA管内(真岡・二宮・益子・茂木・市貝・芳賀)ごとに、それぞれの地域の特色を持った農業体験を行いました。
JAしもつけ	農業体験学習 (あぐり親子うきうきクラブ)	地域住民を対象に、いちごの定植体験や料理教室等を開催し、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。
JAおやま	農業体験学習・地産地消・地域貢献活動	管内産の食材を使った親子クッキングを実施したほか、地産地消の取組みとして学校給食へのいちご・お米の贈呈を行いました。
JA佐野	農業体験教室 (あぐりスクール「夢」)	小学生を対象に田植え、野菜の定植・収穫体験や調理実習を通じて、地元農産物への理解を深める取組みを行いました。
JA足利	農業体験教室 (あぐりキッズクラブ)	小・中学生を対象に、農業体験スクールの開催、野菜作り・バケツ稲栽培・みそ造りの出前授業を通じて、食農教育活動を行いました。
JAしおのや	農業体験学習	園児・小学生を対象にサツマイモの定植・収穫やバケツの稲づくりの農業体験を通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。
JAなすの	農業体験教室 (なっちゃんクラブ)	地域住民を対象に、親子で参加できる「じゃがいも収穫」等の農業体験活動を開催し、食料・農業について理解を深める取組みを行いました。
JAなす南	地元産とちぎ和牛学校給食	園児・小中学生を対象に、食育に関する体験学習・出前授業を実施しました。また、地産地消の取組みとして「とちぎ和牛」の学校給食への提供を行いました。

以上